

わが社の 取り組み

全国 I C T 教育首長協議会

全国 I C T 教育首長サミット「わが社の取り組み」

01	Actiontec Electronics Inc 日本オフィス	21	ソフトバンクコマース&サービス株式会社
02	株式会社内田洋行	22	大日本図書株式会社
03	NTT コミュニケーションズ株式会社	23	株式会社帝国書院
04	株式会社 NTT ドコモ	24	デル株式会社
05	エプソン販売株式会社	25	東京書籍株式会社
06	株式会社ガイアエデュケーション	26	東芝クライアントソリューション株式会社
07	株式会社がくげい	27	株式会社東大英数理教室
08	カシオ計算機株式会社	28	凸版印刷株式会社
09	学研教育アイ・シー・ティー	29	日本マイクロソフト株式会社
10	株式会社教育芸術社	30	パイオニア VC 株式会社
11	Google	31	パナソニックシステムネットワークス株式会社
12	グリー株式会社	32	日立マクセル株式会社
13	株式会社グレートインターナショナル	33	富士ソフト株式会社
14	シスコシステムズ合同会社	34	富士通株式会社
15	シャープビジネスソリューション株式会社	35	株式会社フルノシステムズ
16	株式会社ジャストシステム	36	ペンギンシステム株式会社
17	株式会社城南進学研究社	37	光村図書出版株式会社
18	Sky 株式会社	38	ライズ株式会社
19	スズキ教育ソフト株式会社	39	理想科学工業株式会社
20	ゼッタリンクス株式会社		

参加ゾーン（エデュケーションテーマ）

テーマ1 ハード、ソフトウェア中心 「教育に特化した機器・ハードの在り方」, 「標準仕様の是非」, 「効果をあげる研修方法」
テーマ2 ネットワーク中心 「ネットワークに関する今後の課題」, 「機器とクラウド、ネットワークのパッケージの在り方」

前回のエデュケーション（平成28年10月19日開催）で語られたテーマ

テーマ番号	テーマ
①	【第1部会】 地方自治体の声を中央に！
②	【第1部会】 教育に特化した機器・ソフトを！
③	【第1部会】 環境整備計画への支援が必要！
④	【第2部会】 ICT 機器の標準仕様が欲しい！
⑤	【第2部会】 機器とネットワークのパッケージ化を！
⑥	【第2部会】 ネットワークをどのように整えるか
⑦	【第3部会】 地域の取り組みをアピール！
⑧	【第3部会】 自治体間の情報共有が必要！
⑨	【第4部会】 教員研修の広域の仕組みが必要！
⑩	【第4部会】 教員格差の解消！
⑪	【第4部会】 研修のモデルルーム

※この資料は、各社から寄せられた原稿のまま掲載しております。

担当部門	日本オフィス	担当者氏名	佐々木 織栄
ホームページ	http://www.screenbeam.com/		
参加ゾーン	テーマ1	○	テーマ2
取組み	<p>現在、日本の学校では WiFi 未整備の教室や WiFi 導入後に動画教材の利用に制限がある教室が大半を占めています。教育 ICT 先進国の北米では、Windows10/8.1 タブレットに標準搭載の無線技術“ミラキャスト”を導入し動画教材を利用する授業が急速に広がっています。モニターや電子黒板へ WiFi なしで動画を無線投影できる ScreenBeam は教育 ICT への第一歩として昨年 7 万教室以上に導入されています。</p>		
エデュケーションのテーマに対するコメント	<p>②教育市場向けに開発した ScreenBeam750 は、モニターやプロジェクター、電子黒板と HDMI (または VGA) ケーブルで繋いだ後、Windows タブレットの画面を簡単に無線投影できます。通信距離は約 10 メートル。Windows10/8.1 の標準機能であるミラキャストを利用するので、WiFi がない教室はもちろん体育館などへ持ち運んで利用できます。授業中タブレットを教科書のように持ち歩いて動画教材やその場で撮影したビデオなどを投影してクラス内で共有できます。</p> <p>⑥フル HD 品質の動画を無線送信できる ScreenBeam は、動画を使った授業の際、WiFi 回線や校内 LAN サーバーへの負荷を低減できます。</p>		
テーマ番号	② ⑥		

担当部門	第 1 企画部	担当者氏名	豊田 大輔
ホームページ	http://www.uchida.co.jp/		
参加ゾーン	テーマ1	○	テーマ2
取組み	<p>小学校から大学まで、PC 教室、教育コンテンツ配信等の ICT ソリューションを活用する学習環境の構築、e ラーニングやヘルプデスク等のサービス、ICT 支援員の派遣、校務支援システム構築など、ICT を活用する教育環境のインテグレーションを行っています。また「内田洋行教育総合研究所」では、教育研究事業の受託や教育委員会・学校との実証研究などにより、次世代教育のグランドデザインを描く幅広い活動をしています。</p>		
エデュケーションのテーマに対するコメント	<p>教育情報化の推進に対応した教育環境の整備充実のための地方財政措置が講じられておりますが、その整備状況については地方公共団体間の格差が拡大しているとの調査結果も出ております。弊社としましては、教育環境の整備充実に向け、特に教育委員会様の予算確保の支援に注力してまいりたいと考えております。弊社では学習環境の整備から ICT 支援員の派遣、校務支援システムの構築に全国で数多くの事例を有しております他、「教育総合研究所」では全国の教育委員会・学校と実証研究も実施しておりますので、ここで得られた事例や知見を活用し、整備計画の策定を積極的に支援させていただきます。</p>		
テーマ番号	③		

担当部門	アプリケーション&コンテンツサービス部 アプリケーションサービス部門	担当者氏名	吉川 昌吾
ホームページ	http://www.ntt.com/business/services/cloud/education/edu-cloud.html (4月リニューアル準備中)		
参加ゾーン	テーマ1	テーマ2	○
取り組み	総務省「先導的教育システム実証事業（2014年4月～2017年3月）」を提供したノウハウを活用し、2017年4月より新サービスの開始を予定しています。2010年代中の教育環境のIT化を念頭に、多種多様な端末に対応した各社のデジタルコンテンツ（HTML5ベース）の利用を可能とします。教育現場側で、システム構築の必要は無く、インターネットでアクセスすることにより、教室で様々な教材を活用可能です。		
エデュケーションのテーマに対するコメント			
テーマ番号	—		

担当部門	第一法人営業部 教育ICT推進担当	担当者氏名	染谷 礼子
ホームページ	http://www.docomo.biz/html/service/education_ict/?boltp=p_all		
参加ゾーン	テーマ1	テーマ2	○
取り組み	<p>タブレットなら、子どものいる場所ぜんぶ、学校になる。</p> <p>21世紀を生き抜く子どもたちに必要な力（=21世紀型スキル）。</p> <p>この力をより効果的・効率的に身につけるため、教育ICTの導入は必要不可欠です。</p> <p>ドコモのLTEタブレットなら、教室だけでなく、校外や自宅で、いつでもどこでも学習が可能になります。</p> <p>NWの整備から学習支援、授業づくりまで、全国の自治体・学校関係者様をトータルでサポートいたします。</p>		
エデュケーションのテーマに対するコメント	教育ICTのネットワークについては、Wi-FiとLTEをうまく合わせて利用することがコスト削減だけでなく、効果的に授業を進めることができると考えます。利用頻度の高い一部教室にはWi-Fi設置を設置し、他の教室についてはLTEで利用できるようにすることで通信料を低く抑えることが可能です。また、LTEを利用することにより校外や自宅等でもタブレット等を利用することが可能となり、新しい学びを比較的容易に始めることが可能です。		
テーマ番号	⑥		

担当部門	ビジネス営業企画部（企画）文教担当	担当者氏名	成瀬 文章
ホームページ	http://epson.jp/edu/		
参加ゾーン	テーマ1	○	テーマ2
取り組み	<p>■電子黒板機能搭載プロジェクターからプリンター、拡大機など。授業で、校務で、学校のような場所、用途で活用できる I C T 機器を幅広く提供し、教育の情報化を強かにサポートします。</p> <p>■電子黒板は、現場で多かったご意見、ご要望を機能実現し進化。パソコンなしで投写面に書込み、またタブレット P C との比較・共有可能な連携ソフトを標準添付。アナログ教材活用から、タブレット端末連携まで校内 ICT 活用の幅が広がります。</p>		
エデュケーションのテーマに対するコメント	<p>②教育現場の声に即したデバイス開発には、現場で活用されている先生、生徒の声をお聞きできる機会を企業が如何に創れるかが重要。そのためには、企業は導入いただいた自治体、学校との関係を継続し、幅広くご意見、改善要望をお聞きし、次の製品での使い勝手向上に機能として実現していくスタンスが必要。</p>		
テーマ番号 ② ⑩	<p>⑩ I C T 活用の教員間格差を少なくするには、活用する先生の多様なリテラシーを幅広くカバーできる製品機能が重要。I C T を使い慣れていない先生から、先進的に活用されている先生まで、一気通貫で幅広くカバーできる製品機能搭載が理想。</p>		

担当部門	営業本部	担当者氏名	森田 清一
ホームページ	http://www.gaia-edu.co.jp/		
参加ゾーン	テーマ1	○	テーマ2
取り組み	<p>私たちは『アクティブ』な学びの実現のために『学習環境の整備』が大切だと考えています。学習シーンに応じてスペースを柔軟に変更できるデスク・チェア、タブレットを生かした授業をサポートするソフトの製作を含む、アクティブラーニング教室のご提案に力を入れております。活発な思考を促す空間演出、安全に ICT 機器を運用するためのツールなど様々な角度から学びの場の『空間デザイン』について考えております。</p>		
エデュケーションのテーマに対するコメント	<p>電子黒板用手書きペンソフトを開発しておりますので、開発の視点からコメントさせていただきます。電子黒板は授業でご活用される機会が増えてきていると思いますが、電子黒板ソフトの使い方を先生方に覚えて頂き授業用の教材を作って頂くのではなく、先生方が普段の授業でお使いの教材をそのまま活用できる電子黒板用ソフトの開発に力を入れております。現場の先生方が ICT を活用するために教材作りに時間を割くのではなく、それをいかに軽減できるかを先生方のご意見をお伺いし、より使いやすいソフトの開発に努めたいと思います。</p>		
テーマ番号 ②			

担当部門	ICT企画営業部		担当者氏名	中垣内 純夫
ホームページ	http://www.gakugei.co.jp/			
参加ゾーン	テーマ1	○	テーマ2	
取り組み	全国の小学校で高いシェアを持つ「ランドセルシリーズ」を始めとして、中学校・高校・一般向けまでのデジタル教材の開発・販売を続け 30 年になります。子どもの視点にたち、学習の動機づけを重んじた親しみやすくわかりやすいコンテンツと、高いコストパフォーマンスが特長です。個別学習・協働学習・一斉授業に対応し、クラウド型も可能なシステム、教育委員会のサーバー用システム、反転授業用ソフトも用意しています。			
エデュケーションのテーマに対するコメント	知り合いの先生からの最近のメールに、『授業の準備をもっと楽にできるようにプロジェクターと音響周り AppleTV とスクリーンと、スクリーンを入れる鞆を付けて、一つのワゴンにまとめたセットを作りました。押し車なので「大五郎」と命名。作った次の日、早速、「大五郎改」の取り合いが発生！自分としてはうれしい限りです。そして、早速、極短焦点プロジェクターと DVD デッキと AppleTV をまとめた「大五郎2」を作成。1.24 デビューです。』とありました。こんな工夫事例を写真付きで ictmayors.jp で紹介しては。ソフト面では、小社ソフトはユーザーの声で改良しますのでご要望をお聞かせください。			
テーマ番号	②			

担当部門	教育企画推進部 文教文具推進室		担当者氏名	若松 紀彦
ホームページ	http://casio.jp/			
参加ゾーン	テーマ1	○	テーマ2	
取り組み	『いつでもどの教室でも誰でもすぐ ICT 機器が使える』環境整備をご支援させて頂いております。現状様々な教育 ICT 環境と思われる教育現場の段階的整備をふまえ、早期に全国全ての学校の普通教室に導入設置できるよう取り組んでおります。学校専用モードデジカメで簡単に画像撮り込み、調べ学習ツールをすぐ点くプロジェクトで拡大提示して授業利活用し学習効果も上がるよう、教育現場を強力にサポート致します。			
エデュケーションのテーマに対するコメント	【1.地方自治体の声を中央に！】⇒全国各エリアの学校現場の情報教育環境の実態把握集約する教育委員会様の生の声を常に発信できる全国 ICT 教育首長協議会であり、環境整備のための予算確保から申請までの流れを示唆して頂きたい。この流れ、仕組みが【3.環境整備計画への支援が必要！】へつながり全国の ICT 教育環境整備も一気に加速化するのではないのでしょうか。			
テーマ番号	① ② ③			
	【2.教育に特化した機器・ソフトを！】⇒多くのハード、ソフトメーカーによりエデュケーションの場で新たなコラボレーションが生まれる予感がします。			

担 当 部 門	教育プロデュース部 学校営業課	担 当 者 氏 名	一原 弘之
ホームページ	http://gakken-ict.co.jp/		
参 加 ゾ ーン	テーマ1	○	テーマ2
取 り 組 み	調べ学習に役立つ百科事典・辞書コンテンツ, 基礎学力向上を図る解説・ドリルコンテンツ, 特別支援用教材コンテンツをはじめ, アダプティブラーニング, STEAM 教育, プログラミング教育, グローバルリーダー育成などの教育プログラムを企画・開発しています。これら教材を中心に, ICT を活用した学校, 家庭, 教室・塾の3つの領域をつなぐ新しい教育サービス, コンテンツの創造してまいります。		
エデュケーションのテーマに対するコメント	小学校, 中学校を中心とした学習コンテンツを各自治体, 学校にご提案しています。また, 電子黒板やタブレット PC メーカー等と連携して, 教育現場で抱えている課題を解決するためのご相談にも対応してまいります。		
テーマ番号 ②			

担 当 部 門	広報・デジタル開発部	担 当 者 氏 名	佐藤 貴史
ホームページ	http://www.kyogei.co.jp/		
参 加 ゾ ーン	テーマ1		テーマ2
取 り 組 み	小学校及び中学校の音楽教科書に準拠した, 「指導者用 音楽デジタル教科書」を発行しています。授業の進行に役立てることを想定してデザインされたコンピュータソフトで, 教科書の内容をそのまま収録しており, 電子黒板などを使って大きく表示できるほか, 教科書の内容を活用するためのさまざまな機能やコンテンツを搭載しています。		
エデュケーションのテーマに対するコメント	教育芸術社は, コンソーシアム「CoNETS (コネッツ)」に参画しています。「CoNETS」は, デジタル教科書・教材の標準化を目指した共通プラットフォームの開発, ビューアとコンテンツの分離, 標準化の成果として教科・学年・発行者を超えた教科間連携の実現を目的とし, 学校現場に寄り添い, 使いやすさを追求する「デジタル教科書のスタンダード」を目指しています。平成 27 年度より小学校版, 平成 28 年度より中学校版を発行し, 全国の学校現場で使用されています。		
テーマ番号 ②			

11

Google

担 当 部 門	Google for Education	担 当 者 氏 名	小田 文栄
ホームページ	https://www.google.com/intx/ja/edu/		
参 加 ゾ ーン	テーマ1	○	テーマ2
取 り 組 み	Google では、子どもたちの「21 世紀を生き抜く力」育成のために、教育者が教育の質向上に専念できる環境構築をサポートしています。クラウドベースのパソコン Chromebook の導入支援や、無償の生産性ツールスイート G Suite for Education を提供。既に米国をはじめとする海外では Google の技術を活発に取り入れ、高いセキュリティ、生産性を低価格で実現しています。		
エデュカッショ ンのテーマに対 するコメント			
テーマ番号	—		

12

グリー株式会社

担 当 部 門	CEO Office 本部 政策企画チーム	担 当 者 氏 名	青木 幸太郎
ホームページ	http://corp.gree.net/jp/ja/		
参 加 ゾ ーン	テーマ1	○	テーマ2
取 り 組 み	グリーでは、無料の出張授業や教材の配布などを通して、情報モラルの向上を目指した活動を行って来ました。今回、青少年が情報モラルを自ら学べる環境構築を目的として、千葉大学教育学部 藤川大祐教授監修のもと情報モラル啓発アプリ「魂の交渉屋とボクの物語 - Soul Negotiator - ～君の選択でストーリーが変わる ストーリーから学ぶ情報モラル～（たまボク）」を制作し、無料で提供しております。		
エデュカッショ ンのテーマに対 するコメント	自治体の取り組みについて広報する仕組み（自身の地域に対して、また他自治体に対して）が十分ではないと感じています。文部科学省にて実施された「すぐれた『地域による学校支援活動』推進にかかる文部科学大臣表彰」等、一部ではありながらも全国での取り組みを一同に見聞きすることができる場が（Web 等でも）求められているように感じます。また企業の提供する教育支援の活動についても同様、取り組みをご紹介して認知頂くきっかけを皆さまと一緒にご相談したく考えます。		
テーマ番号	⑧		

担当部門	ICT事業部		担当者氏名	小林 次郎
ホームページ	http://www.great-inter.com/education/			
参加ゾーン	テーマ1	○	テーマ2	
取り組み	<p>グレートインターナショナルは、ICT支援ならびに教育コンテンツの企画、開発、販売をメインに『教育の情報化』をサポートしています。コンテンツ制作のノウハウを生かし、教育委員会で制作された地域教材『わたしたちの町～』（冊子）や副教材のデジタル化も承ります。</p> <p>【主な業務内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 新地町教育委員会様をはじめとする自治体へのICT支援 2. 教育コンテンツの企画、開発、販売 3. 公共団体のシステム構築、保守 			
エデュケーションのテーマに対するコメント				
テーマ番号	—			

担当部門	パブリックセクター事業 教育ICT推進部		担当者氏名	望月 あゆみ
ホームページ	http://www.cisco.com/c/m/ja_jp/solutions/cisco-start/education.html			
参加ゾーン	テーマ1	○	テーマ2	○
取り組み	<p>学校向けに以下の製品、ソリューションをご提供しております。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① ネットワーク機器：校内LANに適したコンパクトで高機能なルーター、スイッチ ② 無線LAN：実績のあるAironetシリーズとクラウド型無線サービス(Meraki) ③ セキュリティ対策：ランサムウェア対策、端末の認証強化等の情報漏えい対策ソリューション ④ ビデオ会議：遠隔授業や海外交流に実績のある操作の簡単なビデオ会議ソリューション 			
エデュケーションのテーマに対するコメント	<p>④シスコは様々な団体で教育ICTのガイドライン作成に携わってきており、この分野の標準仕様検討はお任せください。ただ“繋がる”ではなく、授業で問題なく“使える”仕様が必要です。</p> <p>⑤シスコではAironetシリーズ以外に、クラウド型インフラサービスMerakiをご提供しております。こちらのサービスでは学校ICTに必要なスイッチ、無線LAN、セキュリティ、MDMの機能をまとめて1つのサービスとしてご利用頂けます。自前での運用・構築が必要なく、現場への負担が軽減されます。また初期投資費用も軽減できます。</p>			
テーマ番号	④ ⑤			

担当部門	アカデミックシステム営業部 第一営業部	担当者氏名	永谷 幸久
ホームページ	http://www.sharp.co.jp/business/education/		
参加ゾーン	テーマ1	○	テーマ2
取り組み	<p>私たちは30年以上前から、子どもたちにふさわしい学びの環境を追及し、教育の情報化に取り組んでまいりました。そこで培ってきたものは、まさにこれから求められる学びのスタイルそのものです。教育用基本ソフトウェア「スタディシリーズ」をはじめ、学校専用電子黒板「BIG PAD Campus」など、21世紀を生きる子どもたちに求められる力を育成するための様々な教育ソリューションをトータルにご提案いたします。</p>		
エデュケーションのテーマに対するコメント	<p>次期学習指導要領実施には、普通教室のICT環境整備は必要不可欠です。弊社では、ICT環境整備のステップに応じ、段階的にご活用頂ける教育ソリューションをご提案します。デジタル教科書の活用や、協働学習に欠かせない電子黒板「BIG PAD」は学校専用モデルとしてコストを抑え、40型から80型までを豊富にラインナップ。また、教育用ソフトウェア「スタディシリーズ」は、教育理論に基づいた「主体的・対話的で深い学び」を支援する様々な機能を搭載し、機器の利用形態や学習スタイル、ご予算に応じた段階的な納入が可能となっています。（機器・ソフトの無償貸出プログラムもあります）</p>		
テーマ番号 ②			

担当部門	GSM 事業部マーケティング部	担当者氏名	西井 恵子
ホームページ	http://www.justsystems.com/jp/		
参加ゾーン	テーマ1	○	テーマ2
取り組み	<p>全国のICT活用の事例を発表するセミナーや、近隣地区の事例を共有し導入前の参考・相談もできるミニセミナーの開催、導入研修や授業開発、モデル校の支援等を実施し、教育の情報化の取組を積極的に行っています。先生方のご意見ご要望を元に開発した教育用学習ソフト「ジャストスマイル」シリーズは全国の小学校85%のシェアを誇り、TPC向け「スマイル クラス」や「スマイル ドリル」など、学習環境を支援しています。</p>		
エデュケーションのテーマに対するコメント	<p>学校で求められる学習環境・ソフトとは、学びの主体は子どもたちであり、ICT環境はよりよく学習するための道具でなければならないと考えます。子どもたちが理解しやすく先生からも指示しやすい画面デザイン、学習を阻害しない操作性など、授業に支障が無い配慮が必要です。ジャストスマイル クラスはスマイルシリーズ15年間のノウハウとタブレット端末環境での実証研究の積み重ねにより、子ども目線で様々な配慮や工夫を組み込んでいます。また、学習ソフト、協働学習ソフト、授業支援ソフトや教材などを1つに集約し全ての操作性を統一しているため、選定、導入、研修コストも削減します。</p>		
テーマ番号 ②			

担当部門	ICT教育企画室／法人営業部		担当者氏名	水野 雅恭
ホームページ	http://www.johnan.co.jp/			
参加ゾーン	テーマ1	○	テーマ2	
取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・個別指導学習塾内で教科書対応学習システム「デキタス」を活用し、未受講科目の学力向上を目指している。 ・スイミングスクール内にて「デキタス」を小学生低学年を中心に活用し、団体戦やすぐろくゲーム等を織り交ぜて、勉強の楽しさを知ってもらえるよう取り組んでいる。併せて保護者への啓蒙活動を行っている。 ・高校生対象に映像授業や英単語テスト学習アプリなどを授業に組み合わせ、また進路指導に活用している。 			
エデュケーションのテーマに対するコメント	<p>弊社におきまして、各校舎、各教室におきまして、また講師スタッフ間におきましてのICT教材の取り扱い頻度や方法の差の解消につきましては大変難しい問題でございます。一例ですが、チームを組んで一定期間内に得点を競い合う団体戦を行い、チーム内には生徒さんの他スタッフも参加するようにしたところ、多くのスタッフが楽しんで使ってくれた、との事例がありました。</p>			
テーマ番号	⑩			

担当部門	販促企画部		担当者氏名	木村 純一
ホームページ	http://www.skygroup.jp/			
参加ゾーン	テーマ1	○	テーマ2	
取り組み	<p>近年、児童生徒が自ら学び、考え、行動する力を身につけるために、ICTの活用による協働的・双方向的な学びに取り組む学校が増え、その中でタブレット端末が利用されはじめました。</p> <p>SKYMENU Classは、タブレット端末を授業で使いやすく制御するだけでなく、これからの学習活動に求められる「主体的・協働的な学習」や「1人ひとりの個に応じた学習」をサポートする、授業支援・学習活動支援ソフトウェアです。</p>			
エデュケーションのテーマに対するコメント				
テーマ番号	—			

担当部門	営業部営業課	担当者氏名	神尾 晃栄
ホームページ	http://www.suzukisoft.co.jp/		
参加ゾーン	テーマ1	○	テーマ2
取り組み	<p>創立以来、教育現場における ICT 活用、情報教育に利用していただけるソフトウェアの研究・開発に取り組んでまいりました。子どもたちの情報活用能力を育む教育統合ソフト「キューブシリーズ」や、先生方の業務を助ける校務支援システム「スズキ校務シリーズ」などの今ある製品は、現場の先生の要望に合わせて形を変えてきたものです。これからも先生の声を反映したソフトウェアで教育の情報化をサポートいたします。</p>		
エデュケーションのテーマに対するコメント	<p>弊社は創立以来、教育に特化したソフトウェア開発に携わってまいりました。学校現場の先生方のお声をもとに仕様を検討させていただくことはもちろん、子どもたちのコンピュータ・リテラシーの向上や言語活動の充実、校務の情報化等、時代の要請に合わせて必要な仕様を検討、ご提案させていただいてまいりました。</p>		
テーマ番号	②		

担当部門	営業部	担当者氏名	林 健太郎
ホームページ	http://www.zettalinx.co.jp/		
参加ゾーン	テーマ1	○	テーマ2
取り組み	<p>2020年に向けて教育を取り巻く環境は急激に変化しております。その中で多忙な先生にとって本当に必要なサービスとは何か？を常に考えながら新製品の開発に取り組んでおります。学校での Office 利活用を促進し、簡単な操作で文書作成が行える「Dr. シンプラー」や日常行われているテストをデジタル化して採点集計や分析を行える「AnswerBoxCreator」等、独創的な教育ソリューションを提供いたします。</p>		
エデュケーションのテーマに対するコメント	<p>弊社は先生の校務処理の効率化と ICT 活用能力の向上のためのさまざまなソフトウェア・サービスを展開しております。現役の ICT 支援員が作成した授業や校務ですぐに利用できる Office 文書テンプレート集や、先生が作りたい文書イメージを手書きして弊社宛に送っていただければ、弊社側の ICT 支援員が Word や Excel で文書ファイルの作成を代行するサービスなど、現場の先生に寄り添った新しいサービスを展開してまいります。</p>		
テーマ番号	②		

担当部門	ICT 事業本部 EM 本部 エデュケーション ICT 推進室		担当者氏名	古泉 学
ホームページ	http://cas.softbank.jp/			
参加ゾーン	テーマ1		テーマ2	○
取り組み	Microsoft 社の製品を基盤としたクラウド環境の設計や導入, サポートと iPad を中心とした導入設計, サポートを利用者の目線に合わせてヒアリングを行いながら教育機関へコンサルティングを行う日本唯一の組織。製品提案ではなく目的や用途に合わせたご提案をさせていただきます。			
エデュケーションのテーマに対するコメント				
テーマ番号	—			

担当部門	編集部デジタル事業部		担当者氏名	百合本 礼二
ホームページ	http://www.dainippon-tosho.co.jp/			
参加ゾーン	テーマ1		テーマ2	
取り組み	学校の教育 ICT を支え、貢献できるようにデジタル教科書や教材を製作し、販売しております。これからの ICT 教育において、タブレット端末を利用した個別学習や協働学習に役立つ教材が求められます。いわゆる学習者用のデジタル教材です。紙の教科書や教材ではできなかった学習活動を実現できるようにします。またプログラミング教育の教材等も開発し、実際に体験することでプログラミング的思考を学べるように考えております。			
エデュケーションのテーマに対するコメント	弊社は次のように考えております。小中学校の児童・生徒が使用するソフトは、特別支援にも配慮したさまざまな工夫と配慮が必要だと考えます。学校に、ICT 機器が導入されて多くの先生、児童・生徒が使用する機器やソフトに求められる標準化は、その工夫と配慮を具体化したものと思います。小学生が中学生になっても、学校が変わっても、すぐに機器やソフトを使用できるように配慮した標準化の努力は、メーカー側の責務と考えております。また、具体的な授業での活用事例の紹介も大切なことと考えます。導入した機器やソフトをより良く使って頂くような情報の発信も行いたいと思います。			
テーマ番号	②			

担当部門	開発部	担当者氏名	村松 要
ホームページ	http://www.teikokushoin.co.jp/		
参加ゾーン	テーマ1	○	テーマ2
取り組み	<p>わが社では、小学校の地図帳、中学校の地図帳・社会科（地理・歴史・公民）のデジタル教科書を作成しております。地図帳は、地図の成り立ちが分かりやすくなるよう、レイヤー機能による要素の分解表示などが可能です。中学校社会科のデジタル教科書では、指導案や授業スライドといった、現場の先生方のお授業サポートを可能にする機能を搭載しております。</p>		
エデュケーションのテーマに対するコメント			
テーマ番号	—		

担当部門	公共営業統括本部	担当者氏名	粟津 和也
ホームページ	http://www.dell.co.jp/		
参加ゾーン	テーマ1	○	テーマ2
取り組み	<p>デルは教育業界で信頼を得ている企業の1つとして、革新的でコラボレーションに適したモバイルソリューションにより、世界中の学生の学習体験を革新しています。デルの包括的なポートフォリオは、新しい学習環境を展開し、教室の概念を新たに定義し、学生が素晴らしい成果を残せるようなツールとサービスを提供します。デルの高等教育ソリューションでは、データ主導の分析を行い、IT インフラストラクチャをシンプル化することで、学生たちが将来に向けて準備できるようにしています。また、デルの学校教育ソリューションは、ブレンド型学習モデルを提供しています。時間や場所を選び、1 つですべてに対応しようとする教室に制限されることはありません。</p> <p>デジタルテクノロジーによって教師は学生の心を捉え、斬新なコンテンツを生み出し、地理的境界を越えたコラボレーションを実現できるのです。</p>		
エデュケーションのテーマに対するコメント	<p>IT インフラストラクチャーは様々な局面を経て、標準化に向かっていきます。デルではその標準化に照準を当てつつ、いかにして意味のある価値を創出していくかを追求し、その解答をお客様に還元していくことをミッションとしています。</p>		
テーマ番号	②		

担当部門	ICT 事業本部営業部	担当者氏名	佐藤 哲治
ホームページ	https://www.tokyo-shoseki.co.jp/		
参加ゾーン	テーマ1	○	テーマ2
取り組み	東京書籍は、1985年に家庭学習用の中学校英語、小学校算数の教材を発売したことを皮切りに、30数年の教育用ソフトウェア(ICT 製品)開発・発行の実績がございます。また2012年より、紙の教科書100年の実績とノウハウを活かした「デジタル教科書」を発行いたしました。子どもたちの、より深い理解、そして楽しみながら学習できる環境を目指して、東京書籍は、これからも絶え間なく努力をし続けてまいります。		
エデュケーションのテーマに対するコメント	実際に学校で授業される先生方や ICT 支援員の方などを対象とした「デジタル教科書・教材」の研修会に対応いたします。近年は、全国各地から ICT 環境を構築する上での、最新の ICT 動向をテーマとした自治体レベルでの研修会の開催を要請いただく機会も増えてまいりました。弊社の教科書作りのノウハウに加え、弊社評価事業(学力・体力調査等)部門での児童・生徒の実態をふまえた総合的な見地から開発した最新の ICT 商品を通して、東京書籍は教育現場を全力でサポートいたします。		
テーマ番号 ⑪			

担当部門	国内事業統括部 国内開発営業本部 開発営業第二部	担当者氏名	守屋 文彦
ホームページ	https://dynabook.com/solution/dynaschool/index.html		
参加ゾーン	テーマ1	○	テーマ2
取り組み	「教育の情報化ビジョン」策定後、「フューチャー・スクール推進事業」や「地域雇用創造 ICT 絆プロジェクト」等の実証研究校に教育用 Windows タブレット PC を導入させていただき、実証事業に携わってまいりました。その後、弊社は、シンプルで導入しやすい教育 ICT のコンセプトを体現するアプリケーション「dynaSchool シリーズ」を発売し、学校現場の教育 ICT 導入を加速させるべく、提案を続けております。		
エデュケーションのテーマに対するコメント	③【第1部会】環境整備計画への支援が必要 弊社が担当した整備事例の公開など情報共有が可能です。自治体様、学校様は公開にご協力ください。		
テーマ番号 ③ ⑤ ⑦	⑤【第2部会】機器とネットワークのパッケージ化を 初期導入に向け必要な機器・ソフトウェアをパッケージ化した「dynaschool おてがる ICT パック」を提供しています。		
	⑦【第3部会】地域の取り組みをアピール 弊社では、島根県益田市の中山間地などにおける「タブレット端末を活用した新しい学びによる地方創生プロジェクト」を支援し、その取り組みをご紹介します。		

担当部門	編集部	担当者氏名	小野寺 健吾
ホームページ	http://www.tek.co.jp/		
参加ゾーン	テーマ1	○	テーマ2
取り組み	教育観点に特化した写真やイラスト素材 3 万点以上を収録した写真素材集をご用意しております。授業や教材作成はもとより、教科部会での資料作成や頒布物への掲載や学校ホームページでの利用など、校内でのあらゆる活用を自由に行うことができ、電子黒板などの大画面・大解像度での提示教材としてもお役立ていただけます。		
エデュケーションのテーマに対するコメント	②小規模校のインフラ整備から、中・大規模校の環境改善に利用できる mini サーバと無線ルータのセットをご用意しております。文字通り、持ち運び可能な小型軽量のサーバと無線ルータのセットで、サーバには素材集やドリルといった弊社コンテンツ・アプリがセットアップされるだけでなく、Linux 対応の他社製品も組込可能（他社製品の組込は弊社では行っておりません）で、安価で快適・安全なネットワーク構築が可能となります。		
テーマ番号 ② ⑤	⑤通信環境が未整備あるいは限定的な場合や、ノートPCやタブレットの一斉利用に不安がある場合に最適で、普通教室・特別教室はもとより、保健室や体育館、電源さえ確保できれば校庭での利活用も可能です。		

担当部門	教育ICT事業開発本部	担当者氏名	藤田 智英
ホームページ	http://www.yarukey.jp/		
参加ゾーン	テーマ1	○	テーマ2
取り組み	個に応じた学びの実現により基礎学力の向上と努力する力の育成を図るデジタルドリル学習サービス「やる key」を開発・販売しています。これまでに 34 自治体・4 学校法人でトライアルを実施しました。また大学や自治体と連携した産官学の実証研究や導入後の効果測定も行っています。ICT を活用し児童の学力や学習意欲を向上したい、教員の指導力向上や業務負荷軽減を目指したい自治体様、トライアルのご応募お待ちしております。		
エデュケーションのテーマに対するコメント	「わからなくて困ってる子がいる。もっと立ち止まって向き合いたい。」凸版はそんな先生の熱意に応え、先生の実現したい教育のための個別学習教材「やる key」を開発しました。やる key は児童の習熟度や家庭学習の頑張りを可視化し、先生の授業改善や児童への適切な声掛け、個別指導に役立てることができます。また採点や児童一人ひとりの習熟度にあった問題の出題をやる key に任せることで、先生はより支援が必要な児童に向き合うことができます。やる key は問題が解けるようになる成長実感や目標をクリアする達成感、先生からの声掛けによるモチベーションの向上で、主体的に学ぼうとする努力する力を醸成し、学力向上に繋がります。		
テーマ番号 ②			

担当部門	文教本部	担当者氏名	太田 泉
ホームページ	https://www.microsoft.com/ja-jp/education/default.aspx		
参加ゾーン	テーマ1	テーマ2	○
取り組み	<p>マイクロソフトは、長年にわたり日本の教育関係の皆様に対して、世界における教育 ICT のトレンドをご紹介するとともに、Windows, Office, Azure クラウド等、様々なソリューションをご提供して参りました。</p> <p>また Windows クラスルーム協議会を通じて、21 世紀のグローバル化社会を生きる子供たちの学びと、その教育に携わる教職員を ICT の側面から支援を行っています。</p>		
エデュケーションのテーマに対するコメント	<p>Windows クラスルーム協議会として、全国 ICT 教育首長協議会第 1 回総会におけるエデュケーションに参加し、「指導力向上の拠点となるような、研修モデルルームを教員養成系大学などに設置することが大切（テーマ 11）」という皆様の課題に対して、さっそく地域の教育大学、大学教育学部と連携し、ICT 教育モデルルームの設置を検討し、現在、各地域ごとの設置に向けた調整をしています。</p> <p>またテーマ 6 の「ネットワークをどのように整えるか」という課題においても、総務省・先導的教育システム実証事業として多久市様、箕面市様において、フルクラウド・ネットワークによるセキュリティや実用性を検証いたしました。</p>		
テーマ番号	⑥ ⑪		

担当部門	営業本部 営業開発部	担当者氏名	尾崎 行雄
ホームページ	http://pioneer.vcube.com/edu_class/		
参加ゾーン	テーマ1	○	テーマ2
取り組み	<p>パイオニア VC では、2001 年より販売開始しました電子黒板はフラットパネルディスプレイ国内販売台数 No1 となり、非常に高い評価をいただいております。また、タブレットを活用した協働学習支援ツール「xSync (バイシンク)」や離れた教室をつなぐ遠隔授業支援システム「xSync Prime collaboration」など、新しい学びのシーンに対応したソリューションをワンストップで提供してまいります。</p>		
エデュケーションのテーマに対するコメント	<p>弊社では、実際に授業をされている先生方の声を商品開発に活かす活動を行っております。もちろん、発売後もご活用いただいている現場の声を伺いながら、機能追加、バージョンアップを検討し、実施しております。しかし、ご要望のありました、「使い勝手の標準化」という観点からは、残念ながら製造メーカー各社の考える「使い勝手」が優先され、商品化されているのが現状です。そのため、今すぐに「各社統一された使い勝手の標準化」は困難と考えます。今後、教育団体・企業間交流の機会があれば提唱してまいります。</p>		
テーマ番号	②		

担当部門	教育ソリューションタスクフォース	担当者氏名	則木 博司
ホームページ	http://sol.panasonic.biz/e3/		
参加ゾーン	テーマ1	○	テーマ2
取り組み	先生，児童/生徒，クラスみんなが日常的に，簡単に使える「パッとつながり，パッと使える電子黒板」を中心に，教育 ICT 整備にお役立ち頂けるよう取り組んでいます。誰もが生き活きと学べる学習/学修環境づくり。21世紀を生きる子どもたちのために，パナソニックは皆様と長年にわたり積み重ねてきた実績と最新のAVxICTソリューションでお役立ちしたいと考えます。		
エデュケーションのテーマに対するコメント	パナソニックは，弊社 web ページにて，全国の先進的な教育 ICT 機器納入事例を多数ご紹介しています。今後も，納入させて頂いた全国の事例を広くご紹介する事で，自治体間の情報共有の一助となればと考えています。		
テーマ番号	⑧		

担当部門	プロジェクタ企画販売部	担当者氏名	関根 紳一郎
ホームページ	https://www.maxell.co.jp/		
参加ゾーン	テーマ1	○	テーマ2
取り組み	日立グループでは，電子黒板を中心に教育分野に対して，20年以上の販売実績があります。その中で弊社は，教育分野に特化したプロジェクタ（電子黒板）の製造・販売の中心的存在です。特に，学校での活用を推進するためPCに接続せず簡単に活用できる機能や一方では，インターネット検索，画像取り込み及び手書き文字認識等に優れた機能を有するソフトのご提供等，先生方のリテラシーに合わせた製品の開発に取り組んでおります。		
エデュケーションのテーマに対するコメント	本テーマは長年に渡り，各メーカーにとっての課題です。弊社では日立グループ全体で蓄積してきましたノウハウを継承し，教育に特化した製品開発を実現してきました。しかし，今後活用が促進されると思われるデジタル教科書との連携や先生方が作成された教材をいつでも，どこでも利用できるシステムの実現等，まだまだ課題があると感じております。これは弊社だけでは難しい現実もあるため，日立グループは勿論，業界全体が一体となって先生方の利活用の促進，生徒の学力向上に繋がる教育ソリューションの実現に向けて取り組んでいくことが非常に重要であると考えます。		
テーマ番号	②		

担当部門	みらいスクール事業部	担当者氏名	砂岡 克也
ホームページ	https://www.mirai-school.jp/		
参加ゾーン	テーマ1	○	テーマ2
取り組み	<p>ICT が苦手でも専用リモコンによる簡単操作でデジタル教材を視聴できるなど、毎日・すぐに・使える ICT 環境を提供しています。</p> <p>みらいスクールステーションは、大型提示装置を有効活用する総合教育ソリューションです。特徴は、瞬時に起動する“メディアボックス”。校内 LAN と大型提示装置につながる教室に常設し、機器接続・起動時間の手間を削減します。授業から校内連絡まで“普段づかいの ICT”を提案しています。</p>		
エデュケーションのテーマに対するコメント	<p>ICT 機器は特別なものではなく、日常の中でどの先生・教科でも活用できるものであるべきだと考えます。当社では教材準備から提示まで先生の負担がかからぬように、優良なコンテンツも含めて準備を進めています。さらに、大型提示装置の活用は「見える校内放送」「電子掲示板」といった情報配信を可能とし、授業以外にも用途が広がります。例えば、災害発生時の緊急情報配信や災害発生後の避難所運営にあたって避難生活者への一斉連絡といった「防災設備」としての活用も見込めます。このため教育 ICT 整備予算のほか、学校設備の老朽化対策や新設に伴う学校施設整備予算による導入方法も幅広くご提案しています。</p>		
テーマ番号	② ⑤ ⑩		

担当部門	文教ビジネス推進統括部小中高ビジネス推進部	担当者氏名	仲本 悦子
ホームページ	http://www.fujitsu.com/jp/solutions/industry/education/		
参加ゾーン	テーマ1	○	テーマ2
取り組み	<p>総務省「フューチャースクール推進事業」にソリューションベンダーとして参画。文部科学省の「教育の IT 化に向けた環境整備 4 年計画」の実証研究として、H26 年から「富士通 明日の学びプロジェクト」を実施。普及モデルの「あるべき姿」を追求し、現場の声と得られた知見を小中高向けソリューションや製品に反映したものづくりを行っています。これまで先進的な自治体をはじめ 1300 以上の自治体への導入実績があります。</p>		
エデュケーションのテーマに対するコメント	<p>②富士通は学校現場の声を反映し使いやすさにこだわったスクールタブレット®を 2015 年に提供開始。「学びの場で安心して使える」をコンセプトに、高い堅牢性、防水・防塵、省スペース化を実現。書きあじを追求したペンや高性能カメラ、さらに授業を止めない様々な工夫により、スクールタブレット®は発売以来多くの自治体(222 団体)にご採用いただいております。</p> <p>⑩「富士通 K-12 ソリューション 学習情報活用 知恵たま」は、“学びの可視化”を実現します。教員も児童生徒も直観的な操作のみで、教材・資料・板書画像、提出物など様々な学習データを格納できます。教材共有や授業研究への活用は、学校内でも学校間でも可能です。</p>		
テーマ番号	② ⑩		

担当部門	広報室	担当者氏名	鈴木 智之
ホームページ	http://www.furunosystems.co.jp/		
参加ゾーン	テーマ1	テーマ2	○
取り組み	全国の自治体，教育委員会様に対して，ICT 授業で必要とされる無線 LAN インフラの支援をしております。高性能な業務用アクセスポイントの提供，またタブレット上の画面情報をそのまま電子黒板，大画面 TV 等に投影する動画対応アクセスポイントも提供しています。近年，テスト校への提供やプロジェクトへの参加など，より積極的に ICT 授業廻りの無線ネットワークのご支援をしています。		
エデュケーションのテーマに対するコメント	ネットワークをどのように整えるか？が課題となります。当社では，無線インフラを提供しておりますが，ネットワーク全体では，上位側の回線，ルーター，スイッチ等の問題もあり，使用状況によりボトルネックが発生します。このため，下位のアクセスポイント側では，無線規格の高速化や干渉波対策，多台数接続の安定化など取り組んでいますが，ネットワーク全体で検討することが大事です。		
テーマ番号	⑥		

担当部門	技術計算部	担当者氏名	平田 絵里子
ホームページ	http://www.penguins.co.jp/minja/school/		
参加ゾーン	テーマ1	○	テーマ2
取り組み	体育等の実技系科目向けソフトウェア「見ん者（みんじゃ）」を開発・販売。見ん者は，筑波大学との共同研究で生まれており，【運動理論・ICT 活用スポーツ教育のノウハウ】がぎっしり。協働学習・能動的学習を促す授業づくりが無理なく実現できると，教育委員会や都道府県教育センターで続々導入。Windows クラスルーム協議会員でもある当社は，教職員向けの体験セミナーや，ICT 利活用研修の提供など積極的に支援中。		
エデュケーションのテーマに対するコメント	②タブレット搭載カメラと標準アプリを使えば，まずは動画を使った授業はできますが，次のような視点に配慮した教育に特化したソフトウェアを使うと，授業の運営・組立の飛躍的な向上が期待できるのでは。1) Before/After を多様な方法で比較，2) 教え方のお手本がある，3) 生徒の進捗度に合わせて使う，4) 撮り直しの削減に配慮し生徒の集中をそらさない，5) タブレットの複数人での共有に配慮したデータ分類。さらに多くの学校で継続的に授業に活用されているソフトを選ぶと，授業づくりのノウハウを共有できるというメリットが期待できます。		
テーマ番号	② ⑪		
	⑪地域の教育大学，大学教育学部と連携し ICT 教育モデルルームの設置を支援中。		

担当部門	ICT 事業本部普及促進部	担当者氏名	森下 耕治
ホームページ	http://www.mitsumura-tosho.co.jp/		
参加ゾーン	テーマ1	○	テーマ2
取り組み	<p>小中学校のデジタル教科書を開発しております。2005 年より指導者用デジタル教科書を発売し、電子黒板の普及、学力向上の支援教材として支持されてきました。知識技能の習得に対して、わかりやすい授業、子供たちの集中力の維持などの効果が示されています。次期学習指導要領の示す主体的対話的で深い学びに適応する教材として、タブレット端末等で活用する学習者用デジタル教科書・教材を開発しました。いくつかの小中学校で研究を重ねて、子供たちが主体的にまた対話を楽しむ授業が成立することが見えてきました。</p>		
エデュケーションのテーマに対するコメント	<p>学校教育の、もしくは授業の内容がもっと社会的に開かれるようになれば、様々な業界の英知を教材開発に活かすことができるようになる。今回の学習指導要領におけるプログラミングや小学校英語の取り組みはその一つのきっかけになると考える。また、ICT 活用も同じレベルで、我々開発企業は教育や授業のことを研究し、なおかつ技術や文化の成果を盛り込んだ教材を開発すべきと考える。</p>		
テーマ番号	②		

担当部門	文教グループ	担当者氏名	檜橋 教行
ホームページ	http://www.education.jp/		
参加ゾーン	テーマ1	○	テーマ2
取り組み	<p>『ライズ e ライブラリアドバンス』は、現在 5000 校を超える公立小中学校でご利用頂いております。体系的に整理された豊富なドリル教材だけでなく、子どもたちの自己省察をサポートする機能や履歴データ等を用いた学習ナビゲート機能など、様々な機能が備わっています。今後も教材とシステムのデジタルならではの相乗効果を更に強化し、学びに向かう子どもたちと、より良い指導を目指す先生をサポートして参ります。</p>		
エデュケーションのテーマに対するコメント	<p>「使い勝手の標準化」という点は子どもたちにとっても有益な配慮だと思います。しかしながら、機器では無くソフトウェアの使い勝手の標準化においては機能や商品特性があまりにも多岐にわたるため議論の集約が難しいのでは無いとも考えます。</p> <p>「低価格での供給」については、本当に必要な機能や性能がどの程度かということが十分に議論されることを望みます。一定の性能が保証されない場合、当然のことながら、その機器で実行されるソフトウェアの動作や利用効果にも影響することとなり、結果として ICT のデメリットが強調されてしまうことが無いよう丁寧な検討が必要と考えます。</p>		
テーマ番号	②		

担 当 部 門	公共営業部文教営業課	担 当 者 氏 名	内藤 博康
ホームページ	http://www.riso.co.jp/product/orphis/		
参 加 ゾ ーン	テーマ1	○	テーマ2
取 り 組 み	<p>「プリント業務の効率化」・「プリントコストの低減」・「教育効果のアップ」など、印刷・プリント業務でお困りの教育委員会様・学校様に、A4 毎分片面 120 枚・両面 60 枚、A4 カラー1.52 円、オートステープル機能などの仕様で解決する「高速フルカラーインクジェットプリンター・オルフィス FW5230」をご提案しています。まずは、研究発表会などプリント需要の多い時期の無料貸出で実機確認をお勧めいたします。</p>		
エデュカッショ ンのテーマに対 するコメント			
テーマ番号 —			

平成 29 年 2 月 22 日発行

全国 I C T 教育首長協議会

事務局 一般財団法人日本視聴覚教育協会内

東京都港区虎ノ門 3-10-11 虎ノ門 P F ビル

電話 03-3431-2186 FAX03-3431-2192

Mail info@ictmayors.jp
